

## ■ カリキュラムポリシー（CP）（教育課程編成・実施の方針）

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力・資質を修得させるために、教育課程編成および授業実施にあたっての教育内容、教育方法、学修成果の評価のあり方についての方針を次の通りに定めます。

### CP1）（教養・専門基礎科目）

教養・専門基礎科目は、対象を総合的・全人的にみる姿勢や態度の基盤となる科目を配置し、人間の尊厳を尊重する心を重んじ高い倫理観と心豊かな人間性を養う。

### CP2）（看護の基本）

看護の基本は人間と環境、健康と看護の相互作用によってより良い健康状態を引き出す看護の役割について学び、看護実践能力を養成する。

### CP3）（看護の展開・実践）

実践能力を修得するため「アウトプット」「インプット」を繰り返し、リフレクションを通じて知識・スキルの統合を行い、生涯学習し続ける態度を養う。

#### CP3-1）（看護の展開）

看護の展開は、対象者の背景、病態などに応じて看護を展開する方法と、シミュレーション教育を通じて学んだ内容を統合し、臨床実習に繋げるための学びを行う。

#### CP3-2）（看護の実践）

看護の実践は学んだ内容を基に臨地での看護活動と理論を有機的に統合し、看護実践能力を養成する。

### CP4）（看護の探究）

看護の探究は地域と社会貢献を通して患者を中心とした看護ケアの学修過程で、最善の看護を探究する能力を養成する。

### CP5）（評価の方針）

看護専門職としての資質・能力を総合的に評価する。